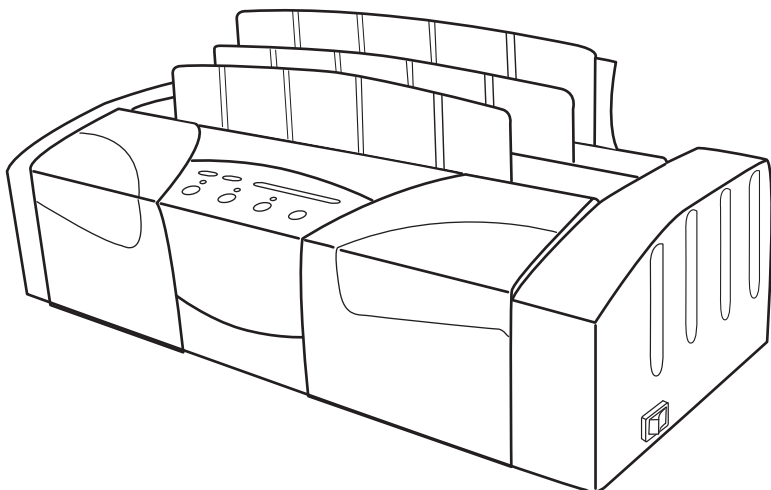




取扱説明書

サーマバインド 500T



アコブランド・ジャパン株式会社

キリトリ線

サーマバインド 保証書

品名	サーマバインド 500T
機種	GTT0500
保証期間	1年
シリアルNo.	

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容に基づき、お買い上げの販売店が無償修理いたします。お買い上げの日から左記保証期間内に故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★お買上げ日	年 月 日
ご芳名	様
★お客様	ご住所

販売店	住所/店名
TEL ()	

★印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

個人情報のお取り扱いについて

本保証書にご記入いただいたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動や保証期間経過後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございます。ご了承ください。お客様の個人情報は当社にて厳重に管理いたしますが、修理のために、当社から修理委託する保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。その場合は当社が厳重に管理いたしますので、あわせてご了承ください。

BRANDS
〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー
TEL. 03(5351)1801

アコブランド・ジャパン株式会社

はじめに

このたびは、弊社サーマバインド500Tをお買い求めいただき、ありがとうございます。

サーマバインド 500Tはいつでも、どこでも、簡単に、短時間で、きれいに製本することができます。専用カバーにあらかじめ塗布された特殊接着剤を熱で溶かし製本する糊付け製本機です。ご使用前に、必ず本取扱説明書をよくお読みいただき、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。また、本書は必ず保管してください。

目次

◆内容物の確認	1
◆ご使用上の注意	2
◆各部の名称と働き	4
◆サポートボードのセット	6
◆製本する前に	7
◆操作の手順	8
◆こんなときは	11
◆仕様	12
◆保証とサービス(保証書)	

お客様へ

- ★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。
また使用後は必ず電源スイッチを切り、電源プラグも抜いてください。
- ★本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用しております。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)、接触すると褐色に変色することがあります。
本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接接触ないようにマット等の保護材を使用してください。

★保証書は内容を確認のうえ、保存してください。

販売店印、お買い上げ年月日の記入のないものは無効となりますのでご注意ください。

★保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

保証とサービス

- (1) 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります
 - a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - b お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越、輸送等による故障または損傷。
 - c 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
 - d 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
 - e 本書の掲示のない場合。
 - f 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

- (2) ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。
- (3) 本書は日本国内においてのみ有効です。
- (4) 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- (5) 性能保守部品の保有期間は製造打ち切り後5年間です。

修理メモ

お客様相談窓口：野田サービスセンター 04-7129-2135

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様に法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

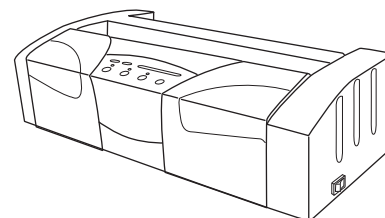
仕 様

製 品 名	サーマバインド 500T
品 番	GTT0500
サイズ(W)×(D)×(H)	485 x 225 x 200 mm
質 量	5.0 kg
電 源	100 V 50/60 Hz
消費電力	319W (50Hz) / 318W (60Hz)
<製本能力>	
最大加工幅	390mmまで (EDPサイズ【11インチ】長辺サイズ)
最大加工厚	40mmまで (背幅の薄いものは数冊同時処理可能)
製本時間	「6mm」モード 約 50秒 「15mm」モード 約 85秒 「40mm」モード 約105秒

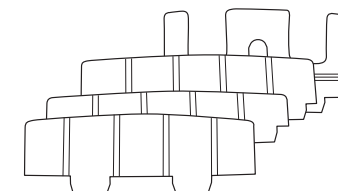
内容物の確認

下記のとおり、本体および付属品が同梱されていることを確認してください。
後述の方法にしたがってサポートボードをセットしてご使用ください。

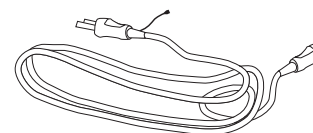
マシン本体



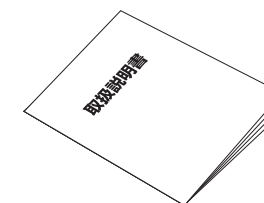
サポートボード (4枚)



電源コード (アース端子付)



取扱説明書 (本書)
(保証書)




※付属の電源コードは、本機専用です。
他の電気機器ではご使用できません。

ご使用上の注意

表示の意味

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。



警告



高温注意

使用中および使用直後は、本体内部のヒーター板は高温になりますので手を触れないでください。

※やけどの原因になります。



本体内部にヒーター板がありますので、絶対に幼児には使用させないでください。

※やけどの原因になります。



塗れた手で電源プラグを扱わないでください。

※感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたり、しないでください。

※火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。

※感電や思わぬけがをする恐れがあります。



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。

※火災、感電の恐れがあります。

現象	原因・対処法	参照ページ
ヒーター板の上にクリップなどを落としてしまった?	<p>☆製本終了のブザーが鳴った後もスロットに書類を入れたままにしていますか? 終了ブザーが鳴りましたら、必ずスロットより書類を取り出して、クーリングラックに置き、冷却してください。そのまま放置しますと、余熱により接着剤が書類に浸透してしまい接着力が弱くなります。</p> <p>製本時、ヒーター板は高温状態になっていますので、電源スイッチを切り、ヒーター板を十分に(電源スイッチを切ってから約15分以上)冷却してから取り外してください。</p>	8ページ

こんなときは

現象	原因・対処法	参照ページ
製本できない (接着剤が溶けない)	☆電源スイッチを入れましたか? 電源スイッチを入れ、電源ライト(赤)を点灯させてください。	7ページ
	☆製本厚選択で正しいモードを選択しましたか? 使用するカバーが6mm以下の場合、「6mm」モードを選択し、製本厚選択ライトを点灯させてください。 使用するカバーが9～15mmの場合は、「15mm」モードを選択し、製本厚選択ライトを点灯させてください。 使用するカバーが18～40mmの場合は、「40mm」モードを選択し、製本厚選択ライトを点灯させてください。	7ページ
	☆カバーが正しく製本機にセットされていましたか? カバーの背の全面がヒーター板にきちんと接するようにセットし、操作手順にしたがってもう一度やり直してください。	8ページ
製本加工後、 ページが脱落した	☆紙が不揃いのまま製本していませんか? 接着剤に接する側の書類をきちんと揃えて、カバーにセットしてください。	6ページ
	☆使用するカバーの背幅の選定が適切でしたか? 綴じる書類の背幅がカバーの背幅より厚いと、書類の両端のページが接着剤に接しないこととなりますので、適切な背幅のカバーをご使用ください。	6ページ
	冷却時間をおかないで見開いていませんか? 製本終了後、必ず2分間以上はクーリングラックに置き、冷却してから見開いてください。	8ページ

⚠ 注意



本機は糊付け製本機です。本機を製本以外の目的では使用しないでください。
※故障の原因になります。



本機は本体内部のヒーター板の熱を利用して製本しますので、感熱タイプの用紙(ワープロ用紙、ファックス用紙など)は綴じ込まないでください。
※変色することがあります。



お子様の手の届かない、安定した場所に設置してください。
※けがの原因になります。



移動の際は落としたり、強くぶつけたりしないでください。
※故障の原因になります。



燃えやすいものを近くに置かないでください。
※火災の原因になります。



スロット部には専用製本カバー以外の異物を絶対に入れないでください。
※火災の原因になります。



本機の上に物を置かないでください。
スロット部及び製本直後の加工物は高温になっていますのでご注意ください。
※火災、やけどの恐れがあります。



使用後および設置場所を変える際は、必ず電源スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。



異常な温度の場所で使用しないでください。ストーブなどの近くやクーラーなどの冷気の直接当たる場所、直射日光の当たる場所は避けてください。
※火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

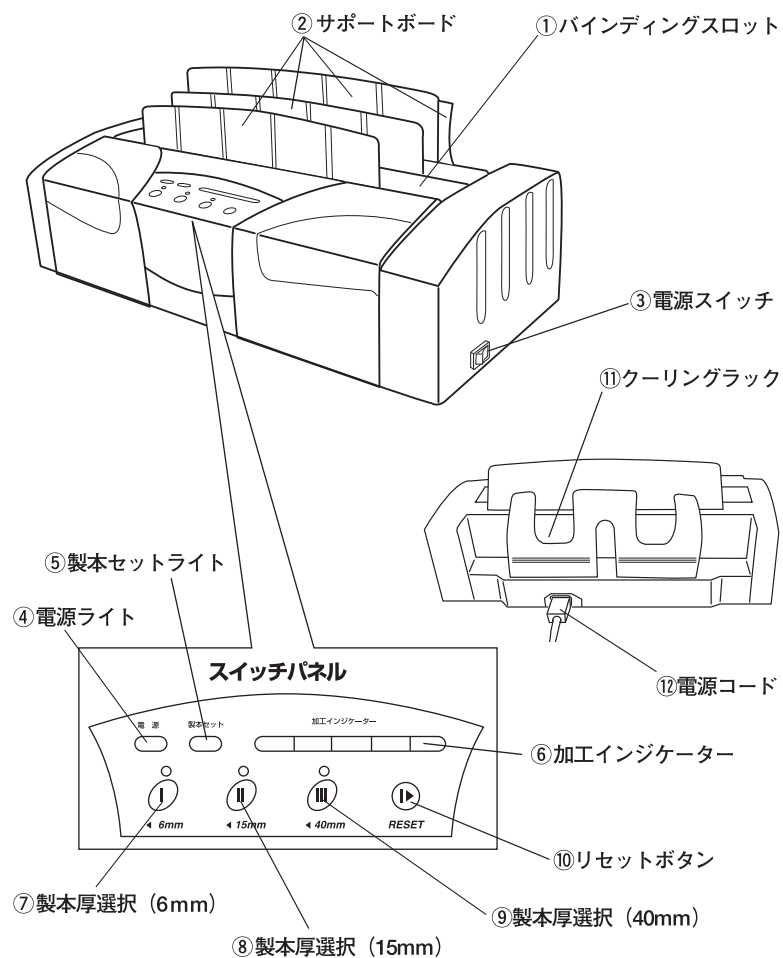


必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにもものをおかないでください。

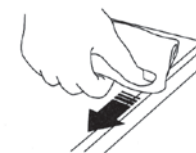


電源は必ずAC100V電源をご使用ください。本機は消費電力が大きいので、タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

各部の名称と働き



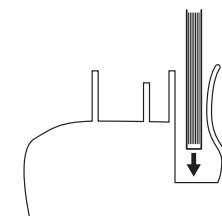
- ⑤ スロットから取り出したら、カバーの背のエッジに沿ってハンカチ等を使用して押えてください。



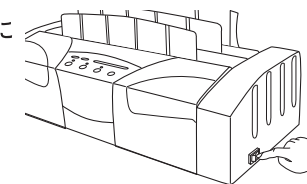
⚠ 注意

! カバーの背のエッジは高温になっていますので、やけどなどに充分注意してください。

- ⑥ カバーが右図のように垂直に立つ状態にして、クーリングラックへ立ててください。書類は接着剤を冷却するために、少なくとも2分間はクーリングラックへ立ててください。約3分間で接着力が完全なものになります。



- ⑦ 製本が完了しましたら、必ず電源スイッチをオフにしてください。



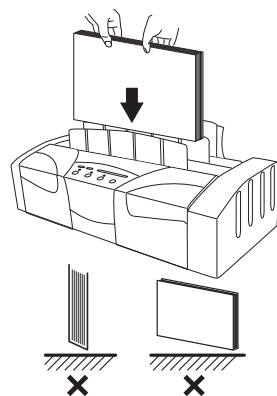
パワーセーブ機能

電源が入っている状態で、10分以上使用しないと、パワーセーブ機能が働いて、バインディングスロットが閉じ、パワーセーブモードに入ります。再度使用する場合はリセットボタンを押してください。サポートボードが開き、使用可能となります。

カバーとサイズの違う書類を製本する場合

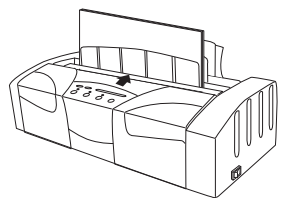
用意したカバーより小さい書類を製本する時は、大きなサイズのまま製本し、後で書類に合わせてカバーをカットしてください。

- ③カバーにセットされた書類の背を下にして、バイディングスロットに入れます。この時、カバーの背の全面がすべてヒーター板に接するようにセットしてください。製本セットライトが点灯し、バイディングスロットが自動で閉じます。ヒーター板の熱により接着剤が溶解し製本します。

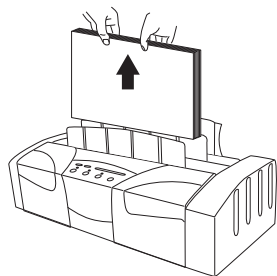


オートスライド機能

バイディングスロットに製本する書類を出し入れすると、センサーが働き、最前部のサポートボードが自動的に開閉します。



- ④加工インジケータライトが、順番に点灯し、全てのライトが点灯をすると、次に約10秒間、ヒーターが振動します。この振動の間、ライトが点滅し、ヒーター振動が終了するとライトが消え、バイディングスロットが自動的に開き、ブザー（ピーという音）が2回鳴って製本終了を知らせます。ブザーが必ず2度鳴ってから製本対象物を取り出してください。（1度目のブザーで取り出しますと加工インジケータが点灯したままになります。この状態では連続して製本が出来ず、リセットボタンを押す必要が生じます）書類を必ずスロットから取り出してください。そのまま放置しておきますと、余熱により接着剤が書類に浸透してしまい、接着力が弱くなります。



バイブレーション機能

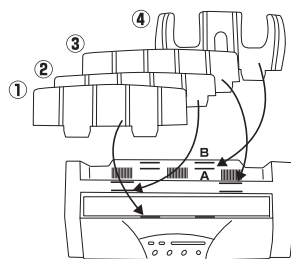
製本の最終工程において、ヒーター板がバイブレート（振動）して、書類と「溶けた糊」をしっかりと接着させます。

- ①バイディングスロット
書類をカバーに挟みこみ、バイディングスロットに入れ、製本します。カバーの背がスロット底面にあるヒーター板に接するように入れてください。
- ②サポートボード
製本・冷却時に、綴じる書類を支えるボードです。本機を使用する前に、付属のサポートボードを本体にセットしてください。
- ③電源スイッチ
電源スイッチを押すと、電源ライト(赤)が点灯し、ヒーター板の温度が上昇を始めます。約30秒後ウォームアップが終了し、製本可能になります。
- ④電源ライト
電源ライト(赤)が点灯し、電源がオンになっていることを知らせます。
- ⑤製本セットライト
製本する書類がバイディングスロットに入りますと、製本セットライト(オレンジ色)が点灯し、製本中であることを表示します。
- ⑥加工インジケータ
製本の進行状況を5つの加工インジケータ（緑色）が表示します。5つの加工インジケータがすべて点灯しますと、製本完了です。
- ⑦製本厚選択（6mm）
使用するカバー厚みが0～6mmの場合は、この選択ボタンを押して、このモードで使用してください。上部にあるライトが点灯します。
- ⑧製本厚選択（15mm）
使用するカバー厚みが9～15mmの場合は、この選択ボタンを押して、このモードで使用してください。上部にあるライトが点灯します。
- ⑨製本厚選択（40mm）
使用するカバー厚みが18～40mmの場合は、この選択ボタンを押して、このモードで使用してください。上部にあるライトが点灯します。電源投入時はこの「40mmモード」が自動的に選択されます。
- ⑩リセットボタン
10分間使用しない場合は、バイディングスロットが閉じ、パワーセーブモードになります。リセットボタンを押すと、パワーセーブモードを解除し、使用できる状態に戻ります。
- ⑪クーリングラック
製本完了を知らせる加工インジケータがすべて点灯し、その後点滅し、完了ブザーが鳴りましたら、書類をスロットより取りだし、ラックに立てて冷却します。
- ⑫電源コード
電源は必ずAC100V電源をご使用ください。

サポートボードのセット

付属のサポートボード(4枚)を右図のように、手前から順番にマシン本体のスリットに奥まで差し込んでセットしてください。

※最背面のクリーニング用サポートボードは製本する書類の厚さに応じて、AかBを利用してください。



製本する前に

① 綴じる書類の厚さにあった背幅のカバーをご用意ください。

(綴込枚数：コピー用紙 64g/m²)

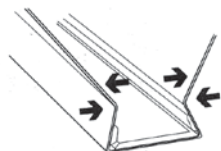
背幅	綴込枚数	背幅	綴込枚数	背幅	綴込枚数
0mm	～15枚	15mm	～150枚	30mm	～300枚
3mm	～30枚	18mm	～180枚	35mm	～350枚
6mm	～60枚	21mm	～210枚	40mm	～400枚
9mm	～90枚	24mm	～240枚		
12mm	～120枚	27mm	～270枚		

② 製本する書類を良くさばいて、綴じる側の背をきれいに揃えてください。

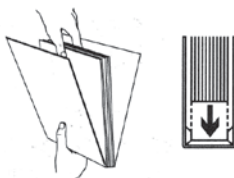
綴じる書類のサイズが各々違う場合は、より注意して綴じる側の背をきれいに揃えてください。



③ きれいに製本するために、書類をカバーにセットする前に、カバーの筋に沿って図のように折ってください。

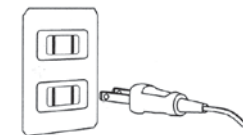


④ 書類をカバーに挟み、書類の背(綴じる側)を接着剤に密着させます。この時、接着剤の面から書類がはみ出さないようにセットしてください。



操作の手順

① 電源スイッチがオフになっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込みます。



② 電源スイッチを押してください。

● 電源ライト(赤)が点灯し、準備中になります。

● 約30秒間お待ちください。製本可能になります。

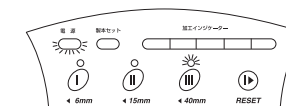
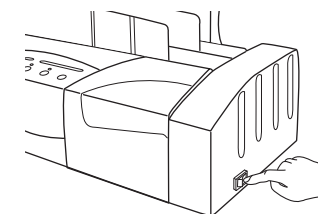
● 電源投入時は、この「40mm」モードが選択されており、

「40mm」製本厚選択ライト(赤)が点灯します。

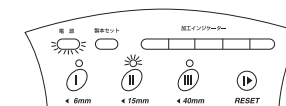
使用するカバー厚みが6mm以下の場合は、「6mm」モードを選択し、製本厚選択ライトを点灯させてください。

使用するカバー厚みが9～15mmの場合は、「15mm」モードを選択し、製本厚選択ライトを点灯させてください。

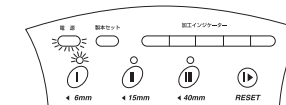
使用するカバー厚みが18～40mmの場合、また18mm以下でも同時に数冊を製本する場合は、「40mm」モードを選択し、製本厚選択ライトを点灯させてください。



「40mm」モード(電源投入時)



「15mm」モード



「6mm」モード



注意



本体内部のヒーター板は高温になりますので手を触れないでください。